

部活動地域展開の考え方と今後の方針について

中学校生徒のスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を継続して保障するとともに、教員の働き方改革を図るため、中学校部活動の地域展開を進めています。

部活動地域展開の現状と今後の方針について報告します。

なお、スポーツ庁と文化庁の有識者会議において、「地域移行」から「地域展開」に名称変更されています。

1 本市の考え方

「子どもたちの自主的な気持ちを大切に」、「地域の人と共に支える」、「教員のやりがい」を尊重しつつ、働き方改革を進める、この3つの考え方を柱とし、「子ども・地域・教員」が三方よしとなるよう地域展開を進めていきます。本市では地域活動が盛んに行われてきた歴史があり、その特徴や良さを活かした明石らしさのある地域展開の実現を図ります。

また、「試合や大会を目標に頑張りたい」、「友だちと楽しく過ごすことを最優先に活動したい」、「いろいろな活動を体験したい」、「地域の方々と一緒に活動したい」など、子どもたちの様々な「やりたい」の実現を目指します。

今後の取組については、部活動のあり方検討委員会での協議を受けて検討していきます。

2 部活動のあり方検討委員会

本年5月9日に開催した「令和7年度第1回部活動のあり方検討委員会」においては、「スケジュール」、「運営団体と実施主体の事務分担」、「実施主体及び指導者の募集」等について協議を行いました。

委員からは「子どもたちが豊かなスポーツ・文化生活を維持できるよう持続可能な地域展開とするべき」、「地域展開へとステップを踏んでいけるスケジュールと運営体制を作っていくて欲しい」等の意見がありました。

特に、運営団体*¹と実施主体*²の事務分担については、重要項目として議論が交わされ、「地域展開を成功させるためには、実施主体の負担軽減が必須である。具体的には、参加費の徴収、指導者への謝金及び保険料の支払等、事務処理については可能な限り運営団体が行うべき」との見解が示されました。

* 1 運営団体 … 実施主体を統括する団体

* 2 実施主体 … 地域クラブ（指導団体）

3 現在の取組

休日部活動の地域展開モデル事業の取組を進めています。令和6年度より実施している剣道について、内容を拡充します。また、柔道についても、今年度より新たにモデル事業を開始する予定です。さらに、他の競技についても関係団体と協議を進めていきます。

4 今後の方針について

持続可能な地域展開を実現するため、「運営団体と実施主体の事務分担」等の課題解決に向けて、部活動のあり方検討委員会において引続き協議を重ねていくとともに、並行して休日モデル事業の検証も行います。

国や県が示すとおり、まずは休日の活動について地域展開の実現を図っていきませんが、平日の活動についても併せて検討を進めていきます。

新しい部活動のカたちへ（部活動の概念～大転換～）

仮称 あかし版 新ぶカツ あかしタイム

子どもの自主的な気持ちを大切に

地域の人と共に支える

教職員の働き方改革とやりがい

あかしタイムの特色

1

試合・大会にも
チャレンジ



子ども・先生が
やりたい

2

やりたいことを実現



自分たちの学校を中心に
子ども・先生も楽しめる

3

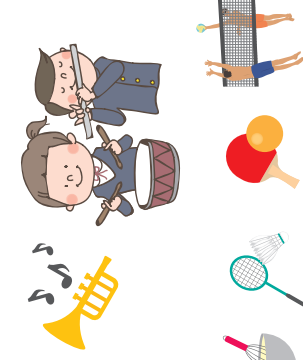
地域の人と一緒に



多世代交流

4

土日のみ合同で活動



先生



働きがい！
やりがい！
を活かす

子ども



三方よし

やりたいを実現 生きる力
そうぞう力！を育む
（創造力・想像力）

地域

子どもが
主役の場に！

コミュニティを基盤に
得意を活かす